

わが数学科(第30回-2)

君津高等学校の巻

1 学校紹介

本校は昭和46年、普通科4クラスで開校した創立35年を迎える学校です。本校のある君津市は、世界に誇る新日鉄が昭和40年代初めに創業し、それとともに発展をしてきました。その目覚ましい発展と人口増加の市に開校された学校ではありますが、開校当時の校舎はプレハブ、グラウンドは重機でならしただけなどと、苦勞は耐えなかつたと聞いています。しかしながら、教員も生徒も一緒になって学校を作り上げてきた当時のパイオニア精神が、伝統として引き継いでいるようでして、部活動のみならず学校生活等に積極的に参加する生徒が、多く入学してくる学校です。また、明朗快活、素直で真面目な生徒が多く在学している学校として、地元住民や保護者などからも信頼は厚いです。

今や卒業生も一万人を超え、今後ますます飛躍が期待されている学校です。

2 学校の特色

(1) SPP(サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト)事業

SPPは文部科学省が「科学技術・理科大好きプラン」の一環として行っているもので、本校ではお茶の水女子大学と東京薬科大学と連携をし、生徒の科学技術・理科、数学に関する興味・関心と知的探究心等を一層高めるための機会の充実を目的として実施しています。

(2) パイロットハイスクール事業

本県で先進的な高等学校づくりとして、平成17年度から3年間実施している事業です。本校は「国際人の養成プログラム-小・中・高・大連携による英語教育-」をテーマとして、神田外語大学と地元の小・中学校との交流会を通して生徒の英語力の向上を目指しています。

(3) 英語コースの設置

平成18年度入学生より英語コースが設置されました。これにより、生徒は2年次より各自の進路等に合わせて選択する幅が広がりました。英語コースは「英語が使える日本人」の育成を目的としていますが、上級学校への進学にも十分対応できるカリキュラムを組んでいます。

3 数学の教育課程

	1年	2年			3年		
		英語	文系	理系	英語	文系	理系
数学I	3						
数学II		4	4	4			
数学III							(4)
数学A	2						
数学B			*2	2			
数学C							*2
数学研究					*2	*2	(4)

- ※ 2年生文系の数学Bは、英語I、フードデザインとの選択
- ※ 3年生英語の数学研究は、古典講読、体育実践研究との選択
- ※ 3年生文系の数学研究は、古典講読、体育実践研究、芸術III(3科目)、英語IIとの選択
- ※ 3年生理系の数学Cは、古典講読、英語IIとの選択
- ※ 3年生理系の数学IIIと数学研究は、どちらかを選択

その他に、各学年にある必修科目は、2クラス2展開の習熟度別クラス編成をしています。おおむね混乱がなく実施していますが、定期考査毎にクラス分けを行っているため、採点、答案返却の後すぐにクラス分け作業などで大変です。また、成績下位のクラスに入ってしまった生徒には、自分に諦めてしまうのではなく、できるよう自信が持てるように頑張らせる、成績上位クラスに入った生徒には、安心してしまおうのではなく、もっと向上させるといった生徒の意欲を上げることの重要性を認識して実施しています。

4 数学科紹介

本校の数学科職員は8名。

本校には、数学教室があります。これは他の学校にはあまり見かけない教室ではないでしょうか。校内の中ではいい立地にあるようで数学の授業だけでなく、さまざまなゼミなどにも使用されています。

下村 賢一(剣道部顧問 6段(錬士)。酷暑極寒をものともせず、まさに剣士。)

小倉 和 (図書情報部主任。成績処理などが円滑に進められるのは先生のおかげです。)

清水 耕二(今年度より赴任。趣味は音楽鑑賞、夜釣りに出かけることも。)

高橋 康美(海外で教えた経験があり、ドイツ語・フランス語も話せる語学堪能な数学教員。)

宮田 徳男(ギャンブルは数学に役に立っているのか? 数学が役に立っているのか? どちら?)

大坪 邦夫(教務主任。毎日多忙の日々を送っている。他の先生方からの人望も厚い。)

吉田 敏 (今年度より赴任。数学にも慣れました。えっ? この学校の卒業生でもある。)

粕谷真由美(数学科の紅一点。先生方の癒し系として、生徒には頼られる存在として。)



2列目左から 大坪 清水 高橋 粕谷
1列目左から 小倉 吉田 宮田 下村